

単元名 2 視野を広げて 一説得力のある構成を考えよう

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。
 (2) 自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫することができる。
 (3) 相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、今までの学習を生かして自分の考えを話そうとする。

標準的な展開例

12210110_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 話題を決めて、情報を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 話題を決めて、情報を集めよう。 ○ 「リオの伝説のスピーチ」(p.56)を通読する。 <p>○ 「①話題を決める」(p.52)を読み、スピーチの話題を考える。</p> <p>○ スピーチの相手と伝えたい思いを明確にし、信頼性の高い必要な情報を集める。</p> <p>2～3 話の構成を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ スピーチの構成を考えよう。 ○ スピーチの構成を考え、構成メモにまとめる。 <p>○ 構成メモの内容について評価し合い、推敲する。</p> <p>4 スピーチの会を開く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 相手を説得できるスピーチをしよう。 ○ 推敲した構成メモを基に、スピーチをする。 <p>○ 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 根拠とする情報は、信頼性の高いものを選んだか。 ・ 聞き手の心を動かすスピーチをするために、どんなところに気を付けたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スピーチのよかった点などを話し合い、自分たちのスピーチに生かしたいことを考えさせる。 ・ 「知多の友」を使用する。 ・ 社会で起きている出来事や話題の中で、多くの人に伝えたいと思ったことを選ばせ、話題にさせる。 ・ 「発想を広げる」(p.240)のテーマ例を参考に、発想を広げさせる。 ・ 「知多の友」を使用する。決定したものは赤で囲ませる。 ・ 「情報整理の方法」(p.239)を参考に、情報の信頼性を確かめさせる。 【評】情報の信頼性を確かめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・ 「知多の友」を振り返らせる。 ・ 「知多の友」を使用する。 ・ p.53の上段「観点」や下段を参考にして、スピーチの構成を考えさせる。 ・ 生徒自身のスピーチの話題と社会との関連を考えさせる。 【評】構成メモを工夫する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ グループやペアで評価させる。 ・ 「聞き手の心に訴えるスピーチをするために【内容を考えてとき】」を参考にさせる。 ・ ポイントや評価の基準をまとめたチェックシートを用意してもよい。 ・ 「スピーチの例」(p.54)や「スピーチで大切な三つのポイント」(p.55),「聞き手の心に訴えるスピーチをするために【発表するとき】」(p.55)を参考にさせる。 ・ ポイントと評価の基準をまとめたチェックシートを用意してもよい。 ・ スピーチの時間を2分、質疑応答の時間を4分と聞き手が感想を伝えたり、質問したりする時間を取る。 ・ 生徒たちが自分のパフォーマンスを振り返ることができるよう、ICT機器を使ってスピーチや質疑応答の様子を録音・撮影しておく。 【評】自分の考えを話す活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

論説的な文章では、筆者の主張（抽象）に対して、複数の事例や根拠（具体）を挙げて解説している。文章における、具体と抽象の関係を捉え、筆者の論理の展開を評価しながら、筆者の主張を読み取り、人間や社会に対する考えを広げたり、深めたりさせたい。

また、スピーチの学習では、人々の価値観や行動に影響を与え、社会を変える力をもつスピーチの力を実感するとともに、社会生活の中から話題を決め、相手を説得できるように、話の構成や発表の仕方を工夫する中で、様々なことに問題意識をもち、社会に視野を広げさせたい。